

# DNS キャッシュの高速化と URL 符号化

西総一朗\*, 井上一成 (明石高専)

Accelerate DNS Cache and URL Encoding.  
Soichiro Nishi\*, Kazunari Inoue (NIT, Akashi Collage)

## 1 はじめに

近年, ネットワーク上を流通するトラフィックは増加の一途を辿っている. 従来のインターネットで利用されていた IP アドレスを識別子に用いるユーザとサーバ間の End-to-End な通信を行うネットワークでは, ユーザからの通信要求が全て単一のサーバに集中することから, 処理遅延やサーバダウンといった様々な問題を引き起こす [?].

そこで, このような問題を解決するために研究されている技術の一つとして情報指向型ネットワーク: Information-Centric-Networking (ICN) [1] がある. 情報指向型ネットワークとは, 従来の IP ネットワークのようにどのサーバからコンテンツを取得するかというロケーションオリエンテッドな通信ではなく, どのコンテンツを取得するかをコンテンツ名で指定し, コンテンツの発見と転送をコンテンツセントリックな方法で行う手法である.

文献

---

[1] 朝枝仁, 松園和久: コンピュータソフトウェア, Vol. 33, No. 3, pp. 3.3–3.15, (2016).